

平成29年度 自己評価結果公表シート

自平成29年4月1日～至平成30年3月31日

学校法人 敬愛学園
岸部敬愛幼稚園

1. 本園の教育目標

教育の目的は、立派な人格を持った人間を育成することです。そして、人格の基礎は幼児期に形成されます。岸部敬愛幼稚園は幼稚園指導要領と、浄土真宗の生活信条、そして親鸞聖人の精神にもとづき、すなおで明るく、やさしく、元気のよい、ほとけの子どもを育てます。

- ★ほとけさまを拝む、明るくて豊かな心を持った子ども
- ★健康で、心身ともに活動的な子ども
- ★お友だちと仲良くあそび、だれからも愛される子ども
- ★「ありがとう」と、すなおによるこび、たたえる子ども
- ★よく聞く態度と、理解力、創造力をもった子ども

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育目標に沿った保育を展開するうえで、教師が意図的に設定した環境のもと、園児が今までにない経験やあそびを主体にした保育を実施することで、園児自身が生きる力を養うことができるように計画し実行していく事を重点目標とする

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して教職員間の共通理解を図る。	全教職員で積極的に推進し、それを現実の保育に添わせるように、具体的な場面について話し合いを行う。
幼稚園を取り巻く状況をふまえて、今後の計画を立てる。	幼稚園を取り巻く状況が徐々に変化しつつある中、本園がどのようにそれらの変化に対応し得るか、行事内容の変更等について教職員間で検討する。
教育の質の向上のために、経験の長短に関わらず全職員への指導に取り組む。	幼児の発達を適正に把握するための研修を実施するとともに、子どもの成長や保護者の関わりについて情報交換し合う機会を数多く持ち、保育の質向上に役立てる。又、行事ごとに教員リーダーを配置することで責任感を持って職務に従事してもらい、教員の質向上に資する。
保護者との良好な関係性を継続させる。	気になる園児の保護者と早めに、小まめに、個別に懇談の場を設けることで、園内での園児の様子を伝え、保護者の不安を解消したり受け止めたりしていく。
園児一人ひとりの成長・発達を見守る	保護者との懇談を設け、時には他機関との連携を図り子育てを支援していく。特別支援児のみならず、他の園児についても同様の対処をしていく。
危機・安全管理を図る	食物アレルギー等の調査を保護者に聞き取り、教員間での情報共有を図ることで、事故を未然に防ぐとともに万が一の事態に備える。又、危機管理委員会を設置する事により肌理細かい対応ができるよう情報収集やマニュアル作成に引き続き取り組んでいく。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について全教職員が共通に理解し、教員相互に相談し合うことで、教育目標の達成に向けて概ね成果を上げる事ができたと考える。保護者との関係については、早めの相談や懇談回数を増やしたことが功を奏したのか、大きなトラブルなく比較的良好な関係が持続できている。今後も継続的に、日常の保育を良いものにしていく為の努力を重ねていくことを決意するものである。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
情報公開の方法	地域の保護者及び市民への情報公開として、ホームページ・掲示板等の媒体を活用し、より多くの市民に対して情報を発信できるようにする。
地域社会との交流	小学校・中学校・特別養護老人ホームなどとの交流を活発にすることにより、世代間の交流を育む。
教員の資質向上	異年齢間の教員のコミュニケーション量を増やす。 園外の研修にもっと積極的に参加できるようにする。
子育て支援の拡充	近隣公園に出向き、地域の親子などを招いて絵本の読み聞かせなどをする。 園庭開放に参加した保護者にアプローチし、子育て相談を受けてみる。
園環境の改善	ウッドデッキ周辺の利便性が思わしくなく子どもの遊びが活発でない為、小規模修繕をすることで子どもが活発に遊べるように改善する（継続協議）。

6. 学校関係者の評価

総体的に学校運営は良好であると評価する。特に一人ひとりの園児や保護者を見守る環境があると聞き、日常的に幼稚園、園児、保護者が「共に育ちあえる」関係性を持って日常の保育を進めていることが大変印象的である。園行事も親子共に大変満足度が高いようで、園児だけでなく保護者も楽しそうに保育参加をする様子が見られる。常に教職員が園児たちに愛情をもって接し、丁寧な言葉遣いや挨拶で園児に接していることも評価に値する。また、仏教保育を通じた情操教育にも力を注いでいるとのことで、園児自身が日々の生活の中で自然と掌を合わせる習慣が身につけている事は素晴らしく思う。少子化が進んでいく中であって、地域にある幼稚園として今後もより一層の活躍が期待される。

7. 財務状況

毎年、公認会計士の監査を受け、適正に運営されていると認められている。